

# 『農場の衛生管理』

「細菌・ウイルス」はあらゆるものによって持ち込まれ、時には農場に大きな損害を与えます。目に見えない病原体からの汚染リスクを低く抑える最善の手段は日常の衛生管理にあります。今回は農場内の衛生対策について考えてみましょう。

## 一 日常の清掃で

### 消毒効果を高めよう

一般的には消毒薬の効力は有機物の混入で低下していきます。消毒場所が汚れていると、せっかくの消毒薬も役に立ちません。消毒は牛舎のホコリや糞などを清掃してから行いましょう。

## 二 消毒薬を使い分ける

「うちは消毒薬ちゃんとしているから安心ヨ」と思っている、使用場所や菌の種類によっては思ったような効果が得られない場合があります。利用する消毒薬の特性を知りましょう。

特に、ヨーネ菌は細胞膜が厚

表-1 消毒薬の効果

	一般細菌 サルモネラ菌	ヨーネ菌	特徴
逆性石けん※	◎	×	一部の細菌やウイルスに効果が無いが、毒性、刺激性、腐食性低く比較的安全性が高い。高温で効力有り
塩素系	◎	◎※※	刺激性と腐食性が有り高温で塩素が減少し効力が落ちる
消石灰	◎	◎	有機物の影響を受けにくい、肌に触れて炎症を起こすことがある

◎効果有り、×効果なし

※バコマやクリアキルなどは逆性石鹸になります

※※有効塩素濃度の高いスミクロールやクレンテなどが利用されています

### 消毒ポイント

- ・人・車が通る場所
- ・農場や牛舎の出入口など
- ・牛が通る場所
- ・通路、牛床など
- ・牛の口に触れる物
- ・飼槽、給水器、器具類など

い脂質で覆われているため、効果があるのは石灰と塩素系と言われています。

## 三 衛生管理の事例

衛生管理の取組を写真で紹介いたします。



野生動物の侵入防止  
牛舎の開口部にネット設置などで侵入を防ごう



牛舎入り口に消毒槽  
消毒槽の他に、汚れを落とす水洗槽をもうけ消毒効果をUP



農場出入り口に消石灰  
車のタイヤ径分の長さ+α(概ね 3m 程度)敷くと効果的



通路の消毒  
通路には消石灰の散布が効果的です



牛の口に触れるものをキレイに  
ウォーターカップの洗浄・消毒も忘れずに！



換気を良く  
牛舎内の湿気やホコリを追い出し、乾燥させる事で、雑菌の増殖をシャットアウト

その他に、糞尿を飼槽側に持ち込まないちよつとした気遣いも衛生管理には大切な事です。

(平成二七年九月執筆)